

1 本年度の学校教育目標

「ふるさとを愛し 自ら学び 未来に向かって挑戦する養父っ子の育成」

2 本年度の学校重点目標

- (1) 夢や目標に向かって、主体的に挑戦する態度を育成する。
- (2) 「生きる力」を育む教育を推進する。
- (3) 子ども達の学びを支える仕組みを確立する。
- (4) 学校・家庭・地域が連携し、ふるさとを愛する心を育てる。
- (5) 教職員としての資質能力の向上を図るとともに、業務改善を推進する。

4 総合的な学校関係者評価

・児童が主体になって行事や活動を進めていることがよく伝わってきた。
 ・子どもたちがタブレットを使いこなして、学習に生かしていることは素晴らしい。同時に使い方のマナーやモラル、人間的な思いやりをしっかりと指導して欲しい。
 ・教師がよく学んで、指導に生かしていることが分かった。
 ・性教育も含め、命を大切にしている教育が進められている。
 ・地域とのつながりが増え、保護者からも理解されている。お互いが頼りすぎず、一緒に学校を支えて行けるようにしていきたい。

3 学校自己評価結果 (A 優れている B 良い C おおむね良好 D 要改善) 太字は改善方策です

分野	評価項目・取組内容	達成状況	学校の取組状況・改善の方策
開かれた	・安心・安全で美しい学校づくりに取り組む。	A	・自治協議会、PTA、地域の方々と連携して、養父小独自の授業、行事など取り組むことができた。(鯉料理体験、ホテル学習、町探検、牛市見学、ドローン体験、グランドゴルフ大会、お手玉の会、園小連携など) ・地域コーディネーターを中心にやぶっこちょこつと応援団が結成され、行事や授業に関わっていただき、学校の様子を知っていただく機会が増えた。 学校から地域に貢献できることがないかさらに考えていきたい。 ・運動会、150周年記念式典など、養父小らしさを生かして行うことができた。 ・PTA奉仕作業では、地域の方、区長さん方にご協力いただいた。
学校づくり	・家庭・地域への情報発信に努め、家庭・地域から信頼される学校づくりに取り組んでいる。 ・地域の人材、自然、史跡等を教育活動に活用し、ふるさと教育に力を入れている。	A	・新学習システム、専科等を生かし、専門性の高い指導、個に応じたきめ細やかな指導の充実を図った。 ・ドリルタイム、養父っ子ががんばりタイムを充実させ、補充学習の推進に努めた。 ・研修を中心として指導方法の改善に努め、わかりやすい授業づくりを推進した。 ・ 月2回の「そうあんくんの日」の取組をブラッシュアップしたい。
基礎・基本の定着	・基礎・基本を徹底する指導を工夫している。 ・児童の実態にあった個別指導をしている。 ・「そうあんくんの日」における自律・自立への取組を行っている。 ・ドリルタイム、養父っ子ががんばりタイムを活用し、自ら力を伸ばそうとする意欲を高めている。	A	・ICT(ロイロノート)を活用し、自分の考えを論理的にまとめ、表現していく技能を高めた。 ・地域と連携した体験的学習に積極的に取り組んだ。課題を見つけたり、児童なりの改善策を見つけたり、主体的に関わりようとする姿勢を育成できた。
主体的、創造的な力	・体験的学習、問題解決的学習を推進し、自ら考える力を育成している。 ・「対話的・主体的で深い学び」の視点での授業改善に努めている。 ・指導内容や方法を創意工夫し、興味・関心を高める授業をしている。	A	・人権作文の掲示、人権集会の開催など、児童が人権について考える機会を作り、積極的に人権について学んだ。 ・道徳の時間だけでなく、防災教育、キャリア教育等、学校生活すべてにおいて道徳教育・人権教育を推進できた。 ・ 新しい人権課題について、教師も研修を深めていく。
道徳・人権教育	・道徳の授業時数を確保している。 ・道徳実践の場として、全領域を有効に利用し、指導している。 ・「対話」による授業づくりに努めている。 ・副教材や副読本を有効に活用している。	B	・運動会や150周年記念式典など児童が中心となって活動を活性化することができ、自治力を高めることができた。 ・縦割り班活動により、協力、思いやりの心を育成し、人間関係作りを推進できた。 ・ 児童会活動は定例作業だけでなく、児童の意見を生かした活動にしていきたい。
特別活動	・人間的なふれあいを大切に学級づくりを進める。 ・主体的な児童会活動や学級会活動に努める。 ・縦割り集団活動を通して、協力し合う人間関係づくりを進める。	A	・生活指導、特別支援等の委員会を定期開催し、共通理解を図った。 ・特別支援学校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、通級指導等、専門機関との連携による個別支援の推進を図った。 ・毎月アンケートを実施し、「いじめ対応チーム」により、早期発見、早期対応に努めた。 ・情報機器のアンケートを行い、児童の現状を把握した上で、保護者にネット、SNSの危険性やルール作りなどの啓発を行った。
生徒指導	・児童の内面理解を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。 ・教職員の共通理解のもとで指導にあたっている。 ・家庭や関係機関と連携を図りながら指導にあたっている。 ・情報機器やネットワーク活用等のルールやマナー、安全な使い方を発達段階に応じて指導する。	A	・日傘の活用や塩分補給に心がけ、熱中症予防に積極的に取り組んだ。 ・縄跳びやリズムジャンプなど体幹を鍛えるメニューを体育授業に取り入れた。 ・健康安全についてほけんだよりでの啓発を行った。 ・栄養教諭と連携をとり、栄養指導、マナー指導・お弁当作り(食育)等を行った。 ・児童に心肺蘇生法・AEDの使い方や適切な対応について身につけさせた。 ・性教育週間を実施し、性に対する意識を高めた。 ・ 今後もさらに内容を充実させ、児童に、「自分の命は自分で守る」意識と安全な過ごし方を身につけさせたい。
健康安全教育	・健康面から望ましい生活習慣を育成している。 ・地域と連携し、児童の健康安全を守るための体制づくりをしている。 ・食に対する興味・関心を高め、自立につなげる。	A	・講師招聘研修を実施し、専門的知見から助言を受け、教職員の資質向上を図った。 ・体罰、いじめ、人権等、常に情報交換と対応について協議の場を持つようし、意識向上、資質向上に努めた。 ・警察と協力し、不審者対応訓練を実施した。 ・保護者アンケートをWEB集計とし、職員業務改善に努めた。 ・タブレット(ロイロノート)を活用し、個々への連絡、授業準備時間の短縮ができた。 ・応援団の方のおかげで集中して業務に取り組み、勤務時間の適正化が図れている。
教職員の資質向上	・児童の実態をふまえた適切なテーマを立て、授業を大切に取組を行っている。	A	・授業参観や各部会会議の実施により、研修を深めることができた。今年度は特にノートの活用について小中中で有意義な情報交換ができた。 ・1月の6年生中学校登校が大雪のため不十分な結果となったが、他は計画的に実施でき、中1ギャップの緩和に努めることができた。 ・ 研修内容、方法を模索しながら、よりよい小中一貫教育を目指していく。
小中一貫教育	・校内で情報交流し、同一歩調で取り組む。 ・部会の取組を計画的に推進する。 ・ノート活用、中学校登校など、学年部会の重点的な取組を充実させる。	A	・授業参観や各部会会議の実施により、研修を深めることができた。今年度は特にノートの活用について小中中で有意義な情報交換ができた。 ・1月の6年生中学校登校が大雪のため不十分な結果となったが、他は計画的に実施でき、中1ギャップの緩和に努めることができた。 ・ 研修内容、方法を模索しながら、よりよい小中一貫教育を目指していく。

5 評価項目ごとの学校関係者評価

学校自己評価の適切さ
・たくさんの取組ができたことは評価する。自治協との取組を今後も発展させていきたい。できることは一緒に。 ・図書室を地域の方に開放することも良いのでは。 ・応援団も含め、かかわれる地域の人を増やして行ける方法を考えなければならない。持続可能な方法をお互いに頼りすぎない関係で。 ・地域コーディネーターの力は大きかった。
・近頃の子どもたちは集中力がないと聞く。集中して勉強できるようにしてほしい。 ・ドリルタイムもがんばりタイムも非常によくがんばっている。その効果として、成績がアップしていることが分かるような具体的な指標を示してほしい。 ・応援団が授業に入ることで、学習の意欲が高まっていると聞いて安心した。
・タブレット(ロイロノート)を使って、いろいろと取り組まれていることが分かった。 ・150周年記念式典でも自分たちの考えを堂々と発表できていた。 ・これからはコミュニケーション力が大切。
・人間的思いやり、社会のルール、マナー教育を改めて大切にしてほしい。 ・道徳は生活の基礎基本。 ・防災教育の大切さを感じている。地域とも連携した避難訓練も考えていく。 ・どれだけAIが発展しても、人の教育は人がしなければならない。
・運動会で子どもたちが中心になって頑張っている姿が素晴らしかった。150周年記念式典でも、児童会が中心で頑張っていた。 ・先生が指導してくださっているのだろうが、児童が中心になって学校を盛り上げている感じがしている。
・世間ではいじめの時、先生に十分対応してもらっていないという話も聞く。養父小ではチームを組んでいて、一人で抱え込まず、みんなで考えているのがよいと思う。これからも先生が互いに相談できる体制を整えて欲しい。 ・保護者に啓発して意識が高まっていることが、アンケートの結果にも出ている。今後も続けて欲しい。 ・アンケートでも学校が楽しいという児童がほとんどで良かった。 ・親子の会話がどこまでできているのか気になる。いいことがあった日は学校からも「うちの人に伝えよう」と背中を押してやって欲しい。
・天候等環境が変わっている中で、様々な努力をしていることが分かった。 ・児童も心肺蘇生法をしたことが素晴らしい。小学生では命を救うのはまだ無理かもしれないが、今から方法や知識を知っておくことが大切だと思う。 ・体育館にエアコンがいるのではないかな。避難所としても運営するのだから。
・授業参観をして、CMを教材にしたり、タブレットで発表させたりと、様々な教材の工夫がされている。先生がよく勉強されているなど思った。 ・先生が様々な研修をして実践力をつけているのがわかった。